

保護者の皆様

浜嶋です。

おはようございます。

保護者の皆様とお話させてもらって、いろいろ教えていただいています。お陰で自分が変わるのを感じます。

昨日、名古屋大学大学院で最後の講義を終えました。そこで学生から教えてもらったことがあります。

ボーイスカウトの教育で考えていることを講義の話題として準備していました。その話の前にイチロー選手のすごさについて「彼は当たり前のことをずっと継続している。打席に立つ前の柔軟運動はいつも同じだ。いつも同じことを継続してできることが天才だ」と話して、普通にやれることは、50点の評価ではなく100点だ。できなければ、20点の価値になると続けました。

そこで、最近よく本を読むようになったと言う学生が、それは、「よい習慣を継続することによって、脳の前頭葉が鍛えられます。前頭葉は、人間そのもので、前頭葉が鍛えられると自己コントロール能力が高まります。その結果、集中力を継続させることができますので、3時間の練習がすべて効果的に行うことになるわけです。だから、普通の人よりも早く成長します」と意見を述べたのです。

私は、自分の考えを証明できる理論的な説明に驚き、学生にお礼を言ってすぐにメモしました。

これがボーイスカウトの教育の根本的な根拠になると確信できます。「継続は力なり」の説明にもなります。皆さんはどのようなことを連想しますか。

こんな話はどう考えますか。

中学校や高校で、毎朝校門に生活指導の先生が怖い顔をして立っている。始業時間が来ると遅刻した生徒を校内に入れなくし、説教やグチを言う。もっとひどいことをする先生もいるとのことでした。

この先生の目的は遅刻をさせない、減らすことが目的で、その数の増減で評価される可哀想な教育者です。教育の目的を考えていない哀れな先生だと思います。

では、なぜ遅刻をしたらいけないのでしょうか。別にときどき遅刻したぐらいで、たいした不都合はないでしょう。

しかし、先生や私たちは、教育を目的に活動しています。

学生話を思い出してください。そこに答えがありますね。自分で考えてみてください。

私に感想を送っていただいたり、団メールでお返事をいただけるととってもうれしいです。

私の目標と実践

～保護者の理解が深まれば、2団が変わります。全員でスカウトを育てよう～